

ことば便り

墨田区立押上小学校
校長 影山祥仁
ことばの教室 NO.2
TEL 03-3617-6925
令和8年5月1日(金)

新緑が美しく、心地よい風を感じる季節になりました。

新学期がスタートして数週間が経ち、お子様も少しずつ新しい生活に慣れてきた頃かと思います。

学校やご家庭での様子について、何かお気付きのことやご心配なことがありましたら、いつでも担当者までお知らせください。

5月

5・6月の行事予定

6月

- 12日(火) 都難言協江東ブロック研究会(午後)
- 13日(水) グループ活動①(吃音) 15:30~
- 19日(火) 都難言協専門研究会(午後) ▲
- 21日(木) 区難言教室担当者会(午後) ▲
- 23日(土) 押上小体育発表会★
- 25日(月) 押上小体育発表会 振替休業日★

★:全日指導なし
△:午前の指導なし
▲:午後の指導なし

- 1日(月) 在籍学級訪問開始
- 2日(火) 都難言協江東ブロック研究会(午後) ▲
- 3日(水) グループ活動①(言語) 15:30~
- 9日(火) 都難言協専門研究会(午後) ▲
- 12日(金) 専門家診断(午後) ▲
- 17日(水) グループ活動②(吃音) 15:30~
- 20日(土) 押上小土曜授業「ことばの相談日」
- 30日(火) 通級指導学級研究会(午後) ▲

新年度保護者会にご出席いただき、ありがとうございました。

先日はご多用の中、保護者会にご出席いただきまして誠にありがとうございました。「ことばの教室」は、一人一人の児童に寄り添い、「できること」や「楽しめること」を一緒に考えていくことができる場所です。今年度も、保護者の皆様や在籍学級担任の先生方と連携し指導・支援を進めていきたいと考えていますので、ご協力のほどよろしくお願いたします。

ことばの教室の通級にあたって

- ・通級時の持ち物「連絡ファイル(必須)、筆記用具、国語の教科書、水筒」を持たせてください。
- ・学期の終了時、在籍校宛に指導報告書をお送りしています。各校で保管及び管理をお願いします。

在籍学級訪問のお願い

6月1日(月)から、在籍学級訪問を開始します。授業時の通級児童の様子を参観し、その後、在籍学級担任の先生方との情報交換を行います。日程につきましては、各担当者から電話等でご都合を伺いし調整いたします。

「ことばの相談」について

相談日：6月20日(土) 9時30分~11時30分

押上小の学校公開日に合わせて「ことばの相談」を行います。お子さんの様子で気になることなどのご相談のほか、施設の見学ができます。事前に連絡の上、お越しください。

TEL 3617-6925 (教室直通)

お気軽に
ご相談を

「ことばの教室」とはどんなところ？

- ・「ことば」に関する心配や不安を和らげるための指導や学級を行う学級です。
- ・決められた時間のみ授業を抜けて通級します。通級している時間は出席扱いとなり、授業に代わるものとなります。担任の先生には授業のフォローをお願いします。
- ・児童の実態に合わせて、決められた時間（週1～2回、45分～90分）学習します。

学級担任の先生方へことばの教室に通う児童への配慮（合理的配慮）のお願い

ことばの教室には、吃音や発音の誤り、言語発達の遅れ、読み書きの不得手さなどの課題のある児童が通っています。以下に配慮していただきたい内容を大まかにお伝えします。

発音に誤りがある

- ・「さかな」が「しゃかな」「ちゃかな」「たかな」などに置き換わる。
- ・音がはっきりしなかったり、聞きにくかったりする



発音の誤りは発語器官の動きの鈍さや癖などが要因となります。復唱させても、改善されず、話すことに抵抗をもつようになる子もいます。誤って発音した場合でも、「さかなを捕まえたんだね」と正しい発音を聞かせてあげ、言い直しを強要せず、見守ってください。

吃音がある

- ・「ぼ、ぼ、ぼく」など音やことばを繰り返す
- ・「ぼーくね」など、音を引き伸ばす
- ・「……っぼく」など、ことばがつかまって出しにくいことがある



吃音が出てもおしゃべりを避けず、楽しめるよう、周囲がどもってもいいんだよと思うことが大切です。学級・家庭でも「落ち着いて」「ゆっくり」などと声をかけるのではなく、ゆったり話すとよいでしょう。また、発表している内容や意欲に注目し、話すことに自信をもてるように励ましてあげてください。

ことばの発達が遅れている、言語力に心配がある

- ・知っている言葉や知識が少ない
- ・言いたいことを文で正しく言い表せない
- ・大人の指示や話を理解できない、友達との会話がちぐはぐになるなど
- ・読み書きが定着しない



読むのがたどたどしい場合、①文字を習得していない ②言葉のまとまりがとらえられないなど様々な要因があり、その子の実態に合わせた指導・支援が必要になります。

漢字を書く量を調整したり、ルビ付きのテストを使用したりするなど、負担を軽減することで取り組みやすくなります。



上記のような困り感を抱えているお子さんがいましたら、お気軽にことばの教室にご連絡ください。今後、ことば便りを通して、発音、吃音、言語発達の促進の指導・支援について詳しく書かせていただきます。